

第1回 契約監視委員会－議事概要－

1. 開催日時：平成28年6月14日（火） 14:00～16:30
2. 開催場所：本部棟 2階 第1会議室
3. 出席者：(委員会委員) 川野辺委員長、畑中委員、堀田委員、青木委員、有澤委員
(事務局) 須藤総務部長、川口管理部経理課長、米川総務部契約管理課長、
境野監査・コンプライアンス室長 他

議題：

1. 資料配布の確認
2. 平成27年度までの点検について（放医研分）
 - (1) 平成27年度下期における随意契約の事後点検について
 - (2) 平成27年度下期における一者応札の事後点検について
 - (3) 平成27年度調達等合理化計画の自己評価の点検について
3. 量子科学技術研究開発機構が策定する平成28年度調達等合理化計画の点検について
4. その他
量子科学技術研究開発機構 各拠点における契約担当部署の体制について

配布資料：

- 1 第33回契約監視委員会－議事概要－
- 2-1 平成27年度下期契約データ
- 2-2 平成27年度下期契約（競争性のない随意契約）の状況
- 2-3 国立研究開発法人放射線医学総合研究所契約事務取扱細則（抜粋）
- 2-4 物品等調達契約審査結果通知書
- 3 平成27年度下期契約（一者応札）の状況
- 4 平成27年度調達等合理化計画の自己評価資料
- 5 平成28年度国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構調達等合理化計画（案）
- 6 量子科学技術研究開発機構 各拠点における契約担当部署の体制について

参考資料：

- 1 独立行政法人等に関する基本的な方針
- 2 独立行政法人の随意契約に係る事務について
- 3 独立行政法人における調達等合理化計画の取組の推進について（通知）
- 4 「独立行政法人における調達等合理化計画策定要領」について
- 5 独立行政法人の調達に関するこれまでの閣議決定等の取扱いについて
- 6 「独立行政法人における調達等合理化の取組の推進について」について
- 7 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構契約監視委員会規程

- 8 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構契約監視委員会計規程
- 9 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構会計事務取扱細則
- 10 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構契約事務取扱細則
- 11 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構会計規程に基づく会計担当責任者の指定及び事務の範囲を定める細則
- 12 平成27年度国立研究開発法人放射線医学総合研究所調達等合理化計画
- 13 平成27年度国立研究開発法人日本原子力研究開発機構調達等合理化計画

議事概要：

1. 資料配布の確認

事務局より、議事次第に基づき、配布資料が確認された。また、資料1に基づき、前回までの議事概要については、委員に事前にご確認頂き、放医研のホームページにて公開している旨説明があり、了承された。

2. 平成27年度までの点検について（放医研分）

(1) 平成27年度下期における随意契約の事後点検について

事務局より、資料2-1から資料2-3に基づき、平成27年度下期における随意契約の状況について説明があり、委員より、特に問題は認められないとして了承された。

(主な議論)

- ・委員より、平成25年度と平成27年度の契約実績を比較すると、半分弱に減っているがどうしてなのかとの質問があり、事務局より、全体的に予算が減ったこと、人件費を除く研究費が削減されたこと、平成27年度は中期計画をまたいで複数年契約ができなかったことよるとの回答があった。
- ・委員より、随意契約された案件で、随意契約によることが出来る理由には、似たような理由があるので、選択された理由が対外的に明確に説明できるようにしておいた方がよいとの意見があった。

(2) 平成27年度下期における一者応札の事後点検について

事務局より、資料3に基づき、平成27年度下期における一者応札の事後点検について説明があり、委員より、特に問題は認められないとして了承された。

(主な議論)

- ・委員より、規程上10日間となっている入札公告期間について、努力して20日間実施していると事務局より説明があった件について、カレンダーベースなのか営業日

ベースなのかとの質問があり、事務局より、指摘された当該契約案件については、年末年始を含んでいるため 30 日間としているとの回答があった。

- ・委員より、参加者確認公募について質問があり、事務局より、まずこの会社しかないと思われるが、絶対にこの会社しかないとは断定できない場合に参加者確認公募を行っているとの回答があった。
- ・委員より、パソコンの一括購入が一者応札になった理由は何故かとの質問があり、事務局より、セットアップ作業を含んでいるので敬遠された傾向があるとの回答があった。
- ・委員より、予定価格が資料に載っていないが、契約と予定価格との乖離を確認したいので予定価格を記載してほしいとの意見があった。
- ・委員より、一者応札を回避するための工夫として、仕様書を改善する等努力願いたいとの意見があった。
- ・委員より、問い合わせ者へのヒアリングした内容について、せっかく聴取した内容なので紹介願いたいとの意見があった。また、委員より、何故一者しか応札しなかったのか、答えられるように準備しておいてほしいとの意見があった。

(3) 平成 27 年度調達等合理化計画の自己評価の点検について

事務局より、資料 4 に基づき、平成 27 年度調達等合理化計画の自己評価の点検について説明があり、委員の意見を踏まえてどのように対応したのか追記することとなり、修正案を E メールで送付し調整し確定することとなったが、それ以外は特に問題は認められないとして了承された。

3. 量子科学技術研究開発機構が策定する平成 28 年度調達等合理化計画の点検について

事務局より、資料 5 に基づき、量子科学技術研究開発機構が策定する平成 28 年度調達等合理化計画の点検について説明があり、特に問題は認められないとして了承された。

(主な議論)

- ・委員より、平成 28 年度の調達等合理化計画は、平成 27 年度と比べて新規の項目はあるかとの質問があり、事務局より、特に新規項目はないが、統合を契機により良い契約方法に変えていきたいとの回答があった。
- ・委員より、他法人の調達成功事例があれば導入してほしいとの意見があり、事務局より、従前より研究開発法人の 8 法人が購入した研究機器類をデータベース化し、相互に情報交換しており、予定価格の参考にしていているとの回答があった。
- ・委員より、調達等合理化計画について、前年度と今年度の新旧対照表等を添付し分かりやすくしてほしいとの意見があり、次回から添付することとなった。

4. その他

量子科学技術研究開発機構 各拠点における契約担当部署の体制について

・事務局より、資料6に基づき、量子科学技術研究開発機構 各拠点における契約担当部署の体制についてご説明した。

(主な議論)

- ・事務局より、次回は本年11月頃に開催予定であり、上期の点検を行うので是非今後
もご理解ご協力をお願いしたい旨ご説明した。
- ・随意契約の点検方法については、次回の委員会より新法人分となり、各放医研以外の
拠点も含まれ件数が多くなるが、今後1～2回はサンプリング抽出を行わず、今回の
ようにリストを理由順に分類し、効率良く説明を行うこととなった。

以上